

## 環境配慮型製品の国際展開推進における論点

1. 環境配慮型製品の国際展開を推進するために、グリーン公共調達（GPP）と環境ラベルをどのように位置付け、活用したらよいか。
  - GPPとラベルの関係はどうあるべきか（A：GPP独自基準＋環境ラベルの活用推奨、B：環境ラベル製品の調達を義務化）。



- グリーン購入法の基準、分野の妥当性
  - 国内の他の施策との連携の可能性
2. GPPと環境ラベルの他に、環境配慮型製品の国際展開を推進する手段はあるか。
  3. 国際展開への関心が低い業種に対して、どのような働きかけをすることができるか。
  4. GPPと環境ラベルの分野で日本の存在感を示すために何ができるか。